

焼石岳の高山植物盗採防止パトロール

岩手県南西部の奥州市と西和賀町の境に位置する焼石岳は、標高が 1547.3m、なだらかな丘陵状の山容で残雪が多く、豊富な雪解け水により多くの湿地帯とお花畑が広がることから花の名峰と呼ばれており、初夏の季節には花を目当てに多くの登山者が訪れます。

山頂までの登山ルートは岩手県側と秋田県側の両県にあることから、昭和 58 年から岩手・秋田両県の関係機関により、高山植物の生育状況及び盗採等の現状確認と両県の情報交換や盗採防止策の検討を行うため、毎年、合同の一斉パトロールが行われています。

今年は、新型コロナウイルスの影響等により 3 年ぶりの開催となりましたが、当日は天候に恵まれ、登山者に対して高山植物保護の啓発を行いながらパトロールを実施しています。

一緒に登頂した者から、花の見頃は 6 月下旬頃だと聞きましたが、実施した 7 月下旬でも十分に花を横目に見ながらパトロールすることができました。

昭和の時代から続く「高山植物盗採防止合同一斉パトロール」ですが、今後とも関係する機関等と連携し、貴重な財産を後世に残せるよう取り組んでいきます。

今は、紅葉の時期となっておりますが、来年の花の見頃には、東北最大級と言われているお花畑で皆さんをお待ちしております。

パトロール風景



頂上にて秋田・岩手合流



ヒオウギアヤメ



ハクサンフウロ



ショウキラン



ハクサンシャジン

